

**今日のトピック** 資源価格の動向

**原油は上値重い、鉄鉱石は中国の鋼材市況がカギ**

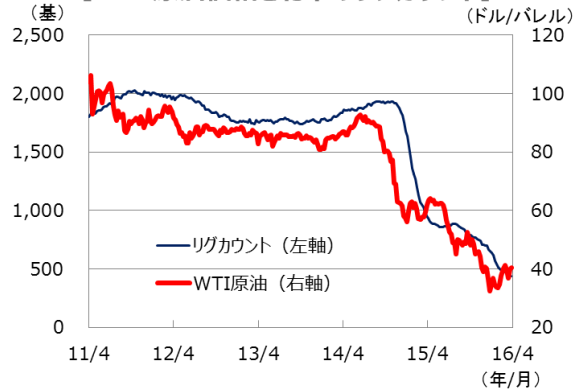
**ポイント1 原油は上値が重い展開に  
産油国会合で意見まとまらず**

- 原油価格（WTI先物、直近限月）は、17日の産油国会合で現状の生産量維持の合意には至らず、18日の取引では一時約7%安まで売られました。その後はクウェートの石油労働者のストライキなどもあり、引けは1.4%安と下げ渋りました。
- 原油需給は、新興国での需要増加、シェールオイルの減産などのプラス要素もありますが、イランなどの産油国の増産予測などから、緩慢な状態が継続する見込みです。産油国の協調が得られなければ、上値が重い展開が予想されます。

**ポイント2 鉄鉱石市況は好調  
中国の鋼材市況が急回復**

- 他の資源では、鉄鉱石市況が好調な推移となっています。中国が豪州などから輸入する鉄鉱石のスポット価格は、2月の旧正月後に急反発し、底値から約5割以上上昇しています。
- これは、中国の鋼材市況の反発が背景です。代表的な品種である熱延鋼板の市中価格は、昨年12月の底値から約60%上昇しています。政府の経済対策への期待や、足元の不動産市況の回復などが背景と見られます。

【WTI原油価格と北米のリグカウント】



【鉄鉱石と熱延鋼板価格】



(注) データは2011年4月22日～2016年4月15日（週次）。  
原油価格はWTI先物の直近限月で、データは4月19日まで。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**今後の展開 原油は産油国の協調、鉄鉱石は鋼材市況がポイント**

- 原油については、短期的な需給改善には産油国の減産、あるいは増産の回避が不可欠です。産油国は、石油収入の減少から財政が厳しくなっているため、6月2日に予定されているOPEC総会、あるいはそれ以前に、どのような対応策を打ち出せるかが、カギとなりそうです。
- 世界の鉄鋼株や鉄鉱石関連株は、中国の鋼材市況の回復を受けて、急上昇しています。中国の鋼材市況は、中期的には鉄鋼メーカーの増産により需給が悪化するリスクはありますが、現在の在庫レベルが低水準なため、当面は堅調な展開が予想されません。

**ここもチェック!** 2016年 4月19日 最近の指標から見る中国経済（2016年4月）  
2016年 4月18日 「産油国会合」は合意に至らず（グローバル）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。